

まちのわ

見習い編集員の目

「まちのわ」の取材には、中央区主催編集員養成講座のメンバーと、大学生編集員が取材に同行しています。編集員の目には、中央区のまちづくりはどのように見えたのでしょうか？

大学生編集員 砂取校区の

まちづくりを取材！

「心意気がまちづくりの重要な軸」

崇城大学 今村 加奈子



水前寺まちおこしを行うにあたって、様々な取組が行われていることを、今回の取材で知ることができた。それぞれのイベントで共通して見られるのが、参加年齢層の幅広さだった。



この心意気こそが、水前寺活性化を進め、地域住民の誇りである水前寺成趣園をPRする際の重要な軸になっていると感じた。

水前寺活性化プロジェクトの永野陽子さんの「こうしたらダメかもしれない、ではなく、一度こうしてみよう！という心意気で臨んでいます。問題を解決するにはまず実行することが大切です！」という言葉が印象的だった。

大学生編集員 本荘校区の

校区自治協議会長さん取材！

「健康」がエンジン・本荘校区のまちづくり

熊本大学 永本 実季



女性たちによって導かれている本荘校区のまちづくり。「他の人が動くのを待っているより、自分で動いたほうがいい」という言葉が印象的だった。そのまちづくりの軸は、「健康であること」。それは、心と体、両方の意味が込められている。その思いが地域活動の内容から感じられた。

目指すまちづくりは、地域行事と学校・企業・医療機関を結ぶこと。小学6年生のためのお泊りキャンプは、防災訓練も兼ねていた。また、高齢者への支援活動も積極的である。高齢者の方々にゲームなどをして楽しんでもらう「いきいきサロン」のほか、本荘校区の歴史を綴ったパンフレットには、高齢者の方々に昔を思い出してもらい、「もっと外へ出かけてほしい」という思いが込められている。

印象に残った会長の言葉がある。「健康であれば、一步でも二歩でも進める」。家族や友人の支えが彼女たちの心の健康につながり、体を動かしているのだと思った。

区民編集員養成中！



意外に知らないことが多く、毎回、役に立ちました。

お互いに取材しあって原稿を作成！

「まちのわ」の取材・編集を学ぶ、区民編集員養成講座が、開講されています。取材や撮影の基礎から実践まで、プロから学ぶ講座です。参加者はみなさん、楽しみながら、取材の極意を学んでいますよ！



実践的でよかった！

撮影のポイントをプロカメラマンから学ぶ



明日から自分の活動に活かしていきたい！

宿題のおすすめパンフレット探しも真剣に参加！

編集員養成講座メンバー

中央区の記念館を取材！

「熊本洋学校教師ジェーンズ邸見学」

帯山校区第五町内自治会 浅田 興司



NHK「八重の桜」で西洋文明の導入時期をみて、熊本での当時の様子に興味がありました。明治4年、熊本洋学校教師として、経歴、能力共に優れたジェーンズ氏が家族と共に来られた。洋学校では、20以上の教科がすべて英語で行われ、10〜15才の秀才が受けた。約5年で閉校になったが、その理由が宗教の違いに起因するものだと言き、残念でならない。

また、レタスやキャベツの栽培、パン食など、氏の教えで、熊本県民の衣食住の安定、日常生活の充実、文化の向上もたらされたと言き、驚いた。
熊本で70年目にして、初めてこの場所を知ることができた。